

デコはじめての自費出版ライン！ 11月発売後に即完売し、重版しました！

世界のしおり・ブックマーク意外史

著者 しおり史研究家 猪又義孝

発行:デコ 定価:3000円(税別)



日本で唯一の「しおり・ブックマーク」の通史。

しおり・ブックマークの歴史を、2000年におよぶ書物と読書の変遷とともにたどれば「意外な」エピソードがいっぱい……。 「しおりギャラリー」の欄では、著者＝しおり史研究家のコレクションである古今東西のしおり・ブックマークを330点掲載。 図版合計430点。 352ページ、オールカラー！

読書、出版、印刷、図書館の歴史に関心のある人にもおすすめ！

≪目次≫

はじめに しおり・ブックマークは、読書になぜ必要とされてきたのか？

世界編 “書かれたものをもう一度読みたい”という人々の欲求がいろいろな印やマーカを生んだ

- 第1章 パピルスの発明が古代の情報革命のきっかけとなった
- 第2章 「本」は聴衆に一斉に読ませるために生まれた
- 第3章 長さ75cmもある教会用ブックマークが今も売られている不思議
- 第4章 ゲーテンベルクが切り開いた印刷技術の夜明け
- 第5章 ページのノンブルは、なぜ16世紀まで存在しなかったのか
- 第6章 18世紀、女性が小説に熱中する「読書革命」が起こった
- 第7章 本を巡って引き起こされた数々の悲喜劇

日本編「しおり」は、多彩な顔を持つ人気の言葉

- 第1章 平安時代、紫式部は”しおり”を使ったか？
- 第2章 中国と日本、しおりにまつわる知られざる深いつながり
- 第3章 江戸の初め、西行の歌をヒントに「枝折」と名づけられた
- 第4章 明治時代、英国製ブックマークを最初に使ったのは夏目漱石？
- 第5章 昭和初期、穏やかな社会に忍び寄る戦争の影
- 第6章 現代の読書シーンにしおり・ブックマークは役立っているか
- 第7章 しおり・ブックマークをちょっぴり科学してみた
- 第8章 IT化時代、電子書籍でもしおり・ブックマークは活躍している

著者プロフィール

猪又義孝

しおり史研究家。昭和18年新潟県糸魚川市生まれ。明治大学商学部卒、出版社で40年間、数々の雑誌編集の現場で過ごす。編著書に『100人の999冊』（小学館）がある。



ご注文申し込み書 貴店名/帖舎	注文数	発行:株式会社デコ
		著者:しおり史研究家 猪又義孝 世界のしおり・ブックマーク意外史 冊 352頁(4C)/A5版/並製/定価3000円(税別) ISBN978-4-906905-15-7 C0000

ご注文は(株)JRCへ FAX 03-3294-2177 (TEL:03-5283-2230)

株式会社JRC経由で、すべての取次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。